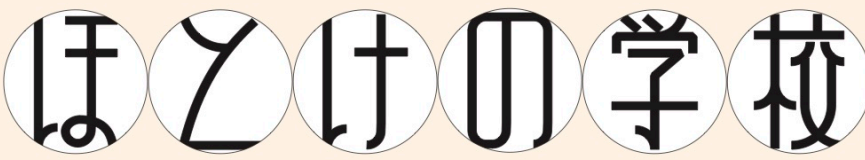
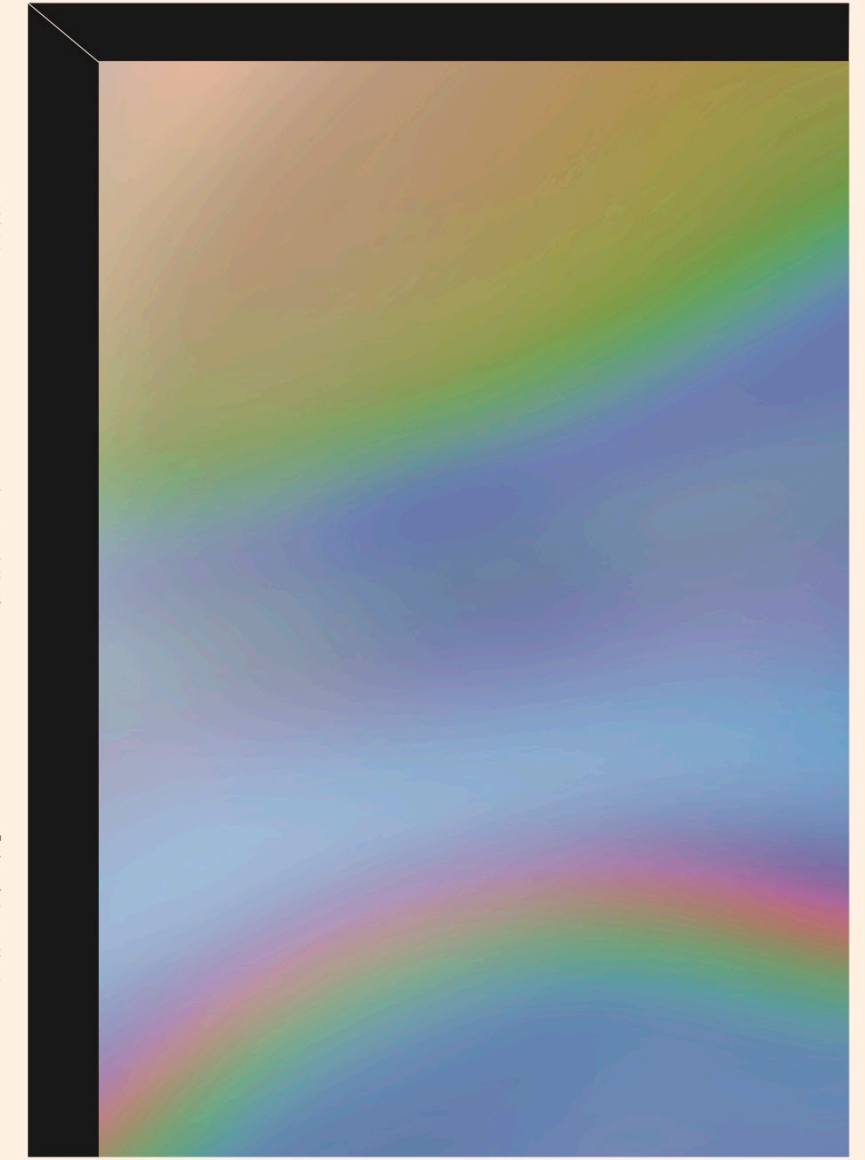
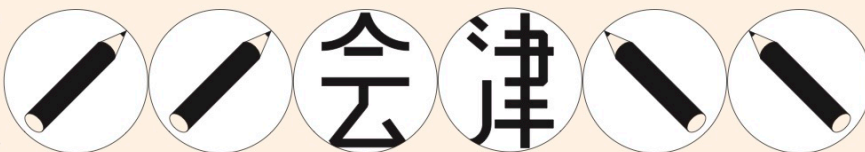


ほとがく  
トークイベント

死者・仏教・観光——ポスト『新復興論』をめぐる冒険——  
2018.11.07(水) 18:00~20:30



ローカルアクティビスト

小松理虔 × 師茂樹 × 秋田光軌 × 陸奥賢

仏教学者

浄土宗應典院主幹

「死生観光」の提唱者

主催  
鳥追観音如法寺

# ゲンロン叢書 001 小松理虔 『新復興論』

震災から七年、復興は地域の衰退を加速しただけだった——。  
希望を奪い、コミュニティを分断する公共投資。原発をめぐる空回りする議論。賛成と反対、敵と味方に引き裂かれた日本で、異なる価値観が交わる「潮目」をいかにして作り出すのか。福島県いわき市在住のアクティビストが辿り着いたのは、食、芸術、観光によって人と人をつなぐ、足下からの「地域づくり」だった。「課題先進地区・浜通り」から全国に問う、新たな復興のビジョン。図版多数収録。

「いままさに、転流時である。本書を読んで、潮目を見定めてほしい。」  
柳美里 (作家)

「僕らに必要なのは、ボーダーを行き来する思考の旅だ。」  
後藤正文 (ASIAN KUNG-FU GENERATION)

「原発事故があって真剣に未来を考えるようになった。娘や息子たちに伝えたいことが満載だ。」  
志賀忠重 (いわき万本桜プロジェクト)



2,300 円 + 税

四六判ハードカバー  
ISBN 978-4-907188-26-9

- 一福島県内取扱書店—
  - くまざわ書店 福島エスパル店  
[福島県福島市栄町 1-1 エスパル福島店 2F]
  - ジュンク堂書店 郡山店  
[福島県郡山市中町 13-1 うすい百貨店 9F]
  - くまざわ書店 会津若松店  
[福島県会津若松市神指町大字南四合字幕内南 154 番地 アビタ会津若松 2F]
  - ヤマニ書房 本店  
[福島県いわき市平字二町目 7-2]
  - 鹿島ブックセンター  
[福島県いわき市鹿島町走熊宇小神山 18-8]
  - ブックエースイオンモールいわき小名浜店  
[福島県いわき市いわき都市計画事業小名浜港背後地震復興土地区画整理事業地内 イオンモールいわき小名浜 4F]
- ※ リスト掲載の書店には、取寄せのみを行っており店頭在庫のない場合があります。その場合は書店員様に「トランスビュー取扱い」とお伝えいただき、ご注文ください。

本書は、福島県いわき市で震災と原発事故を経験し、食や地域づくり、福島からの発信に関わるなかで、震災復興の「現実のリアリティ」の壁の高さを痛感してきた私が、そこから逃避するように重ねてきた実践と思考をまとめた本です。「食べる / 食べない」「賛成 / 反対」など、容易に議論が二分化し、当事者性や党派性が持ち込まれ、語る事が年々面倒になる一方、その周縁で圧倒的な風化が進んできた福島。この地で、いかに空間的・時間的な「外部」を取り戻すべきか。そして、絶望と希望、そのどちらからも距離を置いて地域と関わることは可能なのか。実践を通じて見えてきた「批評的」地域づくり」の道を探りました。

小松理虔

## 死者・仏教・観光

### — ポスト『新復興論』をめぐる冒険 — 開催において

2018年9月、ゲンロン叢書第一弾として、  
福島を「外に開く」ことを模索しつづけた体験を  
『新復興論』に結実させた小松理虔氏。  
浜通りの復興という難しい課題に直面するなかで、  
小松氏は、死者との対話や観光を通じて  
外部と交信し続けることの重要性を訴えてきました。

自分とは異なる外部の声を聞き、  
その身を外部に晒すことによって、  
現実のリアリティから這い出ていく。  
現場から生まれたそんな思想的実践は、  
確実に仏教とも結びついています。  
今回のほとがくでは、その小松氏に、復興、観光、  
さらには仏教についてお話を伺います。

ゲストとしてお招きするのは、  
現代思想をはじめ、ジャンルを越境して活躍する仏教学者・師茂樹氏、  
先駆的な取り組みで知られる浄土宗應典院主幹・秋田光軌氏、  
大阪七墓巡り復活プロジェクトなど「死生観光」の提唱者・陸奥賢氏。

「仏教」というシステムから、世界をみつめること。  
「観光」によって、死者の声に耳をすますこと。  
この迂回装置が「現実のリアリティ」を拡張し、  
突破する「外部」として機能することで、  
震災後の日本に新たな光を見出す可能性を探ります。



小松 理虔 Riken komatsu

1979年いわき市小名浜生まれ。ローカルアクティビスト。いわき市小名浜でオルタナティブスペース「UDOK.」を主宰しつつ、いわき海洋調べ隊「うみラボ」では、有志とともに定期的に福島第一原発沖の海洋調査を開催。そのほか、フリーランスの立場で地域の食や医療、福祉など、さまざまな分野の企画や情報発信に携わる。『ゲンロンβ』に、本書の下敷きとなった「浜通り通信」を50回にわたって連載。共著本に『常磐線中心主義 ジョーバンセントリズム』(河出書房新社)、『ローカルメディアの仕事術』(学芸出版社)ほか。



師 茂樹 Shigeki Moro

1972年生まれ。花園大学教授。早稲田大学第一文学部卒業、東洋大学大学院満期退学。博士(文化交渉学・関西大学)。著書『論理と歴史 東アジア佛教論理学の形成と展開』(ナカニシヤ出版)など。東アジアの唯識思想・仏教論理学を出発点に、現代思想や情報学、マンガ表現論などともリンクさせながら、仏教を研究中。



秋田 光軌 Mitsuki Akita

1985年、大阪府生まれ。浄土宗大蓮寺副住職、浄土宗應典院主幹。大阪大学大学院文学研究科博士前期課程(臨床哲学)修了。劇場型寺院・應典院を拠点に仏教のおしえを伝えるのみならず、哲学対話や演劇的手法などを交えて、人が死生への問いに取り組むことができるよう活動している。



陸奥 賢 Satoshi Mutsu

観光家/コモンズ・デザイナー/社会実験者。1978年大阪生まれ。ライター、放送作家、リサーチャーなどを経験。現在は「大阪七墓巡り復活プロジェクト」「まわしよみ新聞」「直観読みブックマーカー」「当事者研究スゴロク」「歌垣風呂」「劇札」等を主宰。應典院寺町倶楽部専門委員。著書に『まわしよみ新聞のすゝめ』。

- 日時：11月7日(水)18:00～20:30
- 受講料：一般2,000円、30歳以下・障害者手帳お持ちの方1500円、学生1000円  
※当日会場にてお支払いください。割引の方は年齢のわかるもの、手帳、学生証をお持ちください。
- 会場：会津稽古堂 研修室2・3 福島県会津若松市栄町3番50号  
JR会津若松駅から1.5km/磐越道会津若松インターから3.6km
- お申込み：WEBサイトの申込フォーム、または電話にてお申し込みください。  
空席がございましたら、当日の参加も受け付けます。
- お問い合わせ「会津ほとけの学校」事務局(担当：三留まき子)  
969-4406 福島県耶麻郡西会津町野沢字如法寺乙3533 鳥追観音如法寺内

[Tel] 090.4713.8775 [Fax] 0241.45.4190 [Web] [www.aizu-hotogaku.jp](http://www.aizu-hotogaku.jp) [Facebook/Twitter] @hotogaku  
[主催] 会津ほとけの学校(鳥追観音如法寺)[後援] 会津と奈良いにしへの継承委員会/徳一菩薩に学ぶ会  
[協力] 株式会社ゲンロン



ほとがくウェブサイト  
QRコード